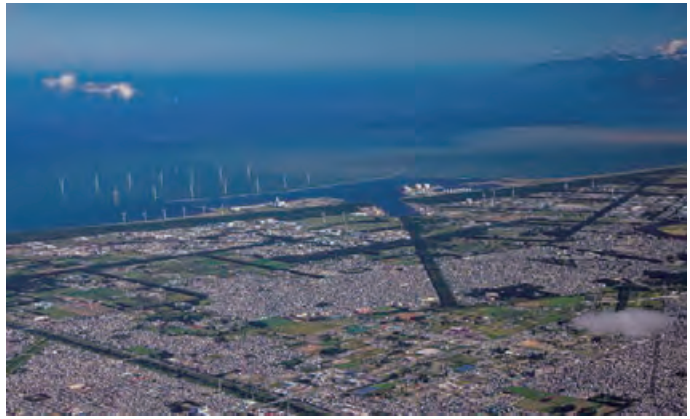


石狩湾新港



石狩湾新港管理組合

〒061-3244 北海道石狩市新港南2丁目725番地1

☎0133-64-6661

URL : <http://www.ishikari-bay-newport.jp>

1. 概況

石狩湾新港は、北海道の日本海に臨む石狩湾沿岸のほぼ中央部に位置し、道内の政治、経済、文化の中核都市である札幌市の中心部から約15キロメートルの至近距離にある。

この地域は、石狩川によって形成された砂質土の平坦な地形が続き、地耐力に富む広大な用地に恵まれ、陸上交通については、札幌市内にアクセスする国道231号や道道が整備され、現在、本港背後の石狩湾新港地域を縦貫し小樽市銭函地区と新千歳空港を結ぶ地域高規格道路(国道337号)などの整備も進められている。

石狩湾に新たな港湾を建設しようとする計画は、明治の初期から多数の先駆者によって様々な構想が立てられた。しかし、これらはいずれも実現に至らず、以来幾多の曲折を経ながら検討を重ね、昭和45年7月に閣議決定された「第3期北海道総合開発計画」において、道央圏における流通と生産機能の拠点として流通港湾の建設と背後地域の開発が計画され、昭和47年8月に北海道開発庁(現国土交通省北海道局)が策定した「石狩湾新港地域開発基本計画」において、物資需要の増大に対処し、日本海沿岸地域及び北方圏諸国等との経済交流拠点としての役割を担い、北海道の長期的かつ飛躍的發展を先導する開発事業として位置づけられた。

この開発計画を受けて、昭和47年11月に「石狩湾新港港湾計画」が策定され、埠頭と背後地との有機的連携などを図るため、港湾の形式を埋立と掘込みとの併用方式とし、花畔・樽川・西・東地区の4公共埠頭と危険物取扱施設として中央地区の整備を図ることとした。

その後、道央圏の経済社会情勢の実情と将来展開に適切に対応するために、昭和63年8月、平成9年11月に港湾計画改訂を行い、更に、船舶の大型化や取扱貨物の集約化による埠頭機能の再編などに対応できるよう平成40年代前半を目標年次とした港湾計画改訂を平成27年7月に行った。

本港は、当初、北海道が単独で港湾管理者となり、昭和48年4月に重要港湾に指定され、同年8月から国直轄事業により本格的に港湾工事に着手した。その後、昭和53年4月、新たな港湾管理者として、北海道、小樽市、石狩町(現石狩市)の3者が石狩湾新港管理組合を設立し、以降、新管理体制のもとで、東埠頭から順次港湾施設の整備を進め、昭和57年には、東埠頭(木材)岸壁の一部を、昭和63年には、中央水路地区花畔埠頭岸壁の一部を、平成18年には、国際物流ター

ミナルの核となる西地区-14m岸壁を、平成25年には、花畔埠頭岸壁の一部で耐震強化岸壁を供用開始している。

令和6年12月現在、全体計画岸壁27バースのうち、20バースが完成し、公共岸壁として13バース(-14m、-10m、-7.5m)、専用岸壁として7バース(-13m、-7.5m)が使用されている状況である。

外郭施設では、4,500mから4,900mに延伸中の北防波堤など複数の防波堤がある。

本港は、平成6年4月に出入国港の指定、同年6月に関税法による港指定を受け開港、同年7月には無線検疫港の指定を受け、実質的なC.I.Q.が整備された。その後、平成11年4月には植物防疫港、平成12年4月には動物検疫港の指定をそれぞれ受け、青果品や畜産品を直接輸出入できるようになった。また、平成14年12月には外国米の輸入予定港の指定を受け、ミニマム・アクセス米の取扱いが開始され、さらに平成17年5月には検疫法に基づく検疫港に指定されるなど、国際貿易港として着実に発展を続けている。

外貿定期航路については、平成9年7月に、韓国釜山港との間にコンテナ航路が開設され、現在は韓国航路及び中国・韓国航路が運航されている。コンテナ荷役作業の効率化を図るため、平成13年12月に花畔埠頭にガントリークレーンを配備、また令和2年9月には、ガントリークレーン2号機が供用を開始するなど、北海道の日本海側の国際物流拠点として成長している。

外航船の入港は、平成10年8月には500隻、平成12年6月には1,000隻をいずれも道内最短記録で達成し、その後も順調に増加しており、令和4年3月には8,000隻を達成している。

このように港湾施設整備とともに港湾利用も進み、令和6年(2024年)には1,263隻の船舶が入港し、取扱貨物も約541万トンとなった。

このことは、本港が大消費地である札幌市を含めた道央圏から最も近いというメリットが、利用者や港湾関係者に浸透してきたものと考えられる。

また、平成24年には北海道で唯一の大型外航船に対応したLNG基地が運転開始されたほか、平成31年にはLNG火力発電所の運転開始、令和5年には港湾区域内で洋上風力発電施設が運転開始されるなど、北海道全域のエネルギー供給拠点としての機能も高まってきている。

その他、平成15年4月には石狩湾新港地域において重量物輸送が可能となる「港湾物流特区」を政府から全国第一号と

して認定され、同月、国土交通省からは静脈物流ネットワークの拠点となる「リサイクルポート」の指定、また平成22年8月には同省から「重点港湾」に、平成23年11月にはLNG機能に係る「日本海側拠点港」に選定されている。さらには、平成29年5月に同省から「農水産物輸出促進計画」の第一号に道内他港5港とともに認定され、本港は、北海道産農水産品の輸出拠点としてその役割を期待されている。

背後地の開発は、「石狩湾新港地域開発基本計画」に基づき、現存する海浜植物、海岸防風林等の自然環境の保全に留意した緑豊かなインダストリアルパークを目指し、3,000haに

及ぶ流通、工業用地の基盤整備が進められ、令和6年(2024年)12月末現在、立地企業は769社、操業企業は716社、就業人口は2万人を超える地域となっており、特に冷凍冷蔵庫は、営業用、自家用を合わせて20社、合計約32万トンの庫腹量であり、全道最大級の集積規模となっている。

このように、本港とその背後地の開発は、着実な歩みの中で、札幌市を中心とした道央圏における物流・エネルギー供給の拠点としての機能をますます高めており、国際貿易拠点港を目指し、積極的な港づくりに取り組んでいる。

2. 港勢

入港船舶

トン数別 種別	合計		30,000総トン以上		10,000総トン以上 30,000総トン未満		6,000総トン以上 10,000総トン未満	
	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数
外航商船	295	4,028,654	17	1,933,385	16	250,795	158	1,525,644
内航商船	850	1,648,674			1	11,190	21	171,818
自航 その他	243	105,721			2	36,452	1	7,561
合計	1,388	5,783,049	17	1,933,385	19	298,437	180	1,705,023

トン数別 種別	3,000総トン以上 6,000総トン未満		1,000総トン以上 3,000総トン未満		500総トン以上 1,000総トン未満		5総トン以上 500総トン未満	
	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数
外航商船	53	244,873	38	65,113	13	8,844		
内航商船	241	924,025	101	156,580	448	366,236	38	18,825
自航 その他	2	8,138	12	19,365	19	14,362	207	19,843
合計	296	1,177,036	151	241,058	480	389,442	245	38,668

最大入港船舶のトン数 136,739総トン（喫水 11.8m）

海上出入貨物

品種 項目	合計		農水産品		林産品		鉱産品		金属機械工業品	
	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%
輸出	299,702	100.0	19,097	6.4					14,797	4.9
輸入	3,214,945	100.0	48,190	1.5	115,637	3.6	798	0.0	28,992	0.9
計	3,514,647	100.0	67,287	1.9	115,637	3.3	798	0.0	43,789	1.2
移出	270,285	100.0							2,941	1.1
移入	1,831,077	100.0	1,287	0.1			753,911	41.2	13,608	0.7
計	2,101,362	100.0	1,287	0.1			753,911	35.9	16,549	0.8
合計	5,616,009	100.0	68,574	1.2	115,637	2.1	754,709	13.4	60,338	1.1

品種 項目	化学工業品		軽工業品		雑工業品		特殊品		分類不能のもの	
	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%
輸出	9,782	3.3	8,447	2.8	3,168	1.1	244,411	81.6		
輸入	2,845,920	88.5	30,100	0.9	51,438	1.6	93,870	2.9		
計	2,855,702	81.3	38,547	1.1	54,606	1.6	338,281	9.6		
移出	245,457	90.8	3,174	1.2			18,713	6.9		
移入	1,053,421	57.5	8,850	0.5						
計	1,298,878	61.8	12,024	0.6			18,713	0.9		
合計	4,154,580	74.0	50,571	0.9	54,606	1.0	356,994	6.4		

外貿コンテナ貨物取扱量

項目	フレートトン	TEU	
		実入り	空コン
輸出	99,702	8,559	14,799
輸入	165,071	23,182	1,581

乗降人員

	合計	乗込人員	上陸人員
外国航路			
内国航路			
計			

3. 港湾施設

区分 埠頭名	けい船施設					荷さばき施設					主な取扱貨物
	バース名	前面水深(m)	延長(m)	最大けい船能力(DWT)	船席数	荷役機械			上屋		
						機械名	揚力(t)	基数	棟数	使用面積(m ²)	
(公共)											
東	東ふ頭木材岸壁	10.0	185	15,000	1						金属くず
	東2号岸壁	7.5	130	5,000	1						金属くず
	東3号岸壁	7.5	130	5,000	1						砂利・砂
花畔	花畔1号岸壁	10.0	185	15,000	1	GC	47.6	1			コンテナ
	花畔2号岸壁	10.0	185	15,000	1	GC	47.0	1	1	2,000	セメント
	花畔3号岸壁 (耐震強化岸壁)	10.0	170	15,000	1	リーチスタッカー	42	1			
	花畔4号岸壁	7.5	220	5,000	1				1	4,000	ガラス類
樽川	樽川1号岸壁	10.0	185	15,000	1				1	5,000	化学薬品
	樽川2号岸壁	10.0	185	15,000	1						石灰石
	樽川3号岸壁	7.5	130	5,000	1				1	4,000	化学薬品
	樽川4号岸壁	7.5	130	5,000	1						砂利・砂
	樽川5号岸壁	7.5	130	5,000	1						砂利・砂
西	西1号岸壁	14.0	280	50,000	1	B			1		木材チップ
(専用)											
中央 (管理者： 苫小牧埠頭(株))	苫小牧ふ頭1号岸壁	7.5	140	5,000	1	LA			4		その他の石油
	苫小牧ふ頭2号岸壁	7.5	140	5,000	1	LA			2		その他の石油
	苫小牧ふ頭3号岸壁	7.5	140	5,000	1						
中央 (管理者： 北海道ガス(株))	中央ふ頭D1岸壁	7.5	149	5,000	1						LPG
	中央ふ頭D2岸壁	7.5	149	5,000	1	LA			1		LNG
	中央ふ頭D3岸壁	7.5	145	5,000	1	LA			1		LNG
	中央ふ頭LNG栈橋	13.0	110	85,000	1	LA			1		LNG

保管施設		
区分	棟数	面積・容量
野積場	-	169,348m ²
普通倉庫		
1~3類倉庫	7	33,794m ²
危険品倉庫	25	206,840kℓ
〃 (LPG)	3	3,800t
〃 (都市ガス)	2	280,000m ²
貯蔵倉庫(サイロ)	1	18,000t
冷蔵倉庫	8	48,199m ²
LNGタンク	4	840,000kℓ
水面倉庫(貯木場)	-	-

泊地		
区分	水深(m)	面積(m ²)
錨泊地	14.0	259,000
	10.0	657,500
	7.5	240,500
	2.5	10,000
はしけ溜	-	-
木材投下泊地	-	-
危険物泊地	7.5	174,000
	13.0	278,000

港湾関連施設	
名称	延床面積(m ²)
新港ビル	943

臨港交通施設	
名称	総延長(m)
臨港道路	18,576
新交通・鉄道	-
ヘリポート	-

4. コンテナターミナルの概要

花畔埠頭地区

埠頭名	花畔埠頭
ターミナル面積	101,224m ²
岸壁延長	185m
水深	10m
荷役機械	GC 2基
アウトリーチ	31m
リーファープラグ	242基
荷役方式	リーチスタッカー方式

5. マリーナ

該当なし

6. 緑地

名称	区分	面積(m ²) (植栽率-%)	水際線延長 (m)	緑地タイプ	竣工年度	施設	
						利用施設	附属施設
中央西海浜		7,049 (90.7)	258	親水緑地	平成9年度		遊歩道

7. 基地港湾

該当なし

8. ポートサービス

水先

水先区	水先人会事務所所在地	電話番号	会員数
小樽水先区	〒047-0031 小樽市色内1丁目2-18	0134-22-5380	2

曳船

名称	所在地	電話番号	馬力	隻数
石狩湾新港サービス(株)	〒061-3242 石狩市新港中央1丁目202番地新港ビル	0133-64-5461	3,600PS～ 4,000PS	3

医療・厚生施設

(船員)

区分	名称	所在地	電話番号
病院	石狩病院	〒061-3213 石狩市花川北3条3丁目13	0133-74-8611

9. 関係出先官公署

名称	所在地	電話番号
函館税関小樽税関支署石狩出張所	〒061-3242 石狩市新港中央1丁目202-1 新港ビル1階	0133-64-6797
札幌入国管理局小樽港出張所	〒047-0007 小樽市港町5-2(小樽地方合同庁舎)	0134-33-9238
小樽検疫所	〒047-0007 小樽市港町5-2(小樽地方合同庁舎1階)	0134-22-5234
小樽海上保安部	〒047-0007 小樽市港町5-2(小樽地方合同庁舎4階)	0134-27-6118
北海道運輸局	〒060-0042 札幌市中央区大通西10丁目(札幌第2合同庁舎)	011-290-2711
横浜植物検疫所札幌支所小樽出張所	〒047-0007 小樽市港町5-2(小樽地方合同庁舎3階)	0134-23-4166
動物検疫所北海道・東北支所 小樽港事務所	〒047-0007 小樽市港町5-2(小樽地方合同庁舎)	0134-33-2460
北海道開発局小樽開発建設部 小樽港湾事務所	〒047-0008 小樽市築港2-2	0134-22-6131

